

7. 関係機関・各団体の活動

1. 郡山地方広域消防組合消防本部

(1) 地震発生後の火災・救急・救助の概要

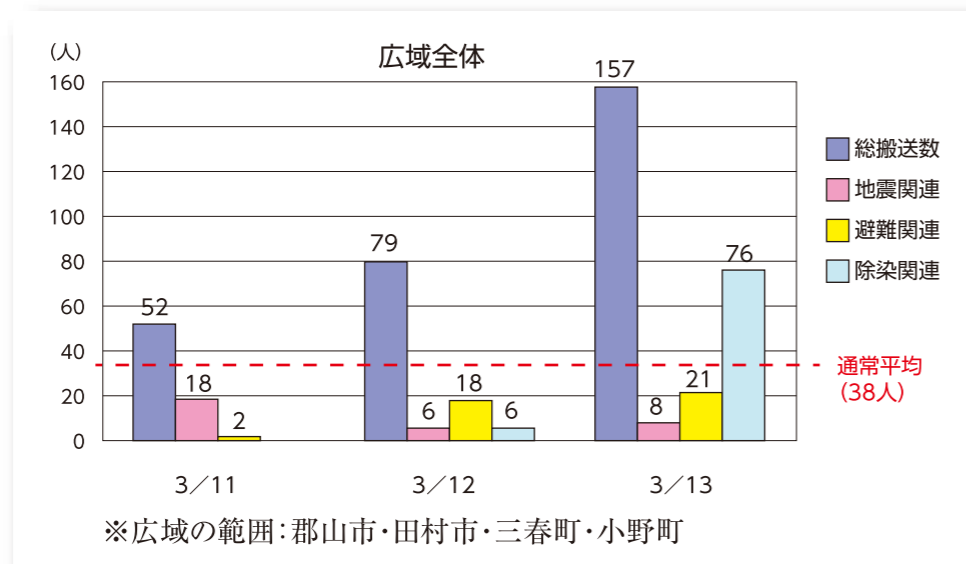
ア 火災(3月11日14:55~16:33に発生)

- ・建物火災:6件(郡山市4、田村市2)
- ・焼損程度(全焼3、半焼2、小火1)



市営住宅火災の発生

イ 救急(震災当日から3日間の救急発生状況)

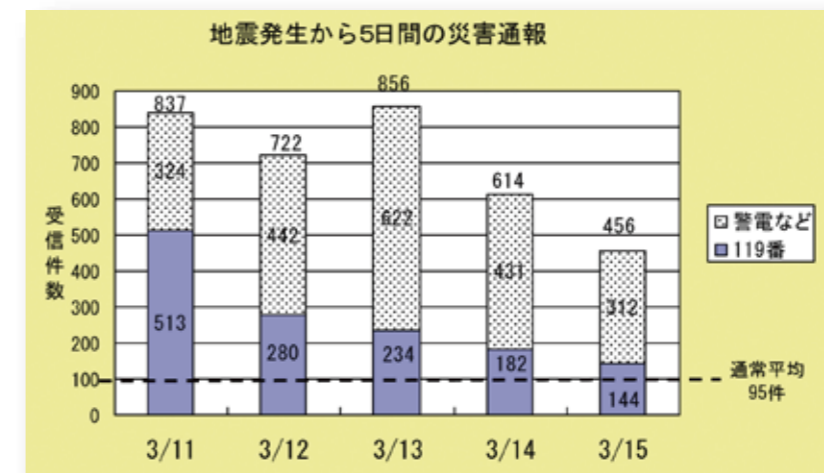


ウ 救助(震災当日から3日間の救助活動等:計47件)

- ・3月11日 郡山市役所展望台座屈による救助活動など:21件
(4月19日、上記展望台座屈現場にて死者1名を確認)
- ・3月12日 救急指定病院の建物損壊調査など:14件
- ・3月13日 ガス・危険物漏洩の対応など:12件

エ 災害通報

地震発生後5日間、119番通報及び警察電話(警電)による災害通報が集中、平常時の8倍を超える災害通報に対応するため、通報受信時に緊急度・重症度のトリアージを行い、災害対応にあたりました。



(2) 緊急被爆スクリーニング及び除染活動

3月12日15時36分、東京電力福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋の爆発により、相馬・双葉地区を中心に避難してきた住民の緊急被爆スクリーニングと除染を、原管理者の英断により、郡山市総合体育館にて同日20時50分から開始しました。

消防では、初めての原子力発電所の事故に伴う大規模なスクリーニング及び除染活動は、本組合と郡山市保健所合同により24時間体制で実施、その後3月14日からは自衛隊も加わり、合同で活動を行いました。

本組合の活動は、6月21日まで継続的に行われ、延べ1,000人の隊員が活動にあたり、約30,000人の方々の緊急被爆スクリーニングを実施しました。

また、活動状況及び期間中における完全除染者数、簡易除染者並びに救急搬送人員等については以下のとおりです。

- ・活動日数:102日間
- ・完全除染者数:10人
- ・簡易除染者数:146人
- ・救急搬送人員:82人

7. 関係機関・各団体の活動

7. 関係機関・各団体の活動



避難者の脱衣と着替えを行うため設営したエアートントと、除染した汚水を貯留するため設営した簡易水槽等

(3) 避難者対応状況

ア 消防本部避難者対応状況

震災直後から、本組合消防本部庁舎へ避難してきた近隣住民及び帰宅困難者に消防本部5階講堂を避難所として開設、3月31日までの21日間にわたり避難者を受入れました。

- ・避難者収容総数：1,447人
- ・最大収容者数：216人



消防本部の会議室も避難場所に

イ 本組合管内の避難所からの救急搬送者数

搬送期間	郡山市	田村市	三春町	小野町	県施設	合計
3月11日～31日	93	75	8	3	67	246
4月1日～30日	15	9	2	4	21	51
5月1日～7月1日	2	8	0	0	2	12
計	110	92	10	7	90	309

(4) 給水活動

震災当日から本部敷地内耐震性貯水槽を使用して、地域住民へ給水活動を実施しました。



耐震性貯水槽を使用した給水活動の様子

(5) 福島第一原子力発電所の事故に伴う活動

ア 県内相互広域消防応援による活動

- ・県外救急搬送：1名
- ・県内救急搬送：3名

イ 緊急消防援助隊(指揮隊・消火隊・救助隊)の受援

県中地区の緊急隊前進活動拠点として、岐阜、滋賀、静岡、群馬の4県緊急消防援助隊の応援を受けました。受け入れ期間は、3月24日から31日までの8日間で、4県隊143名を受入れました。

ウ 緊急消防援助隊(救急隊)の活動支援

避難指示及び屋内退避指示を受けた地域在住の高齢者等巡回診療を行うため、常業分署にて緊急消防援助隊(1都2県16隊36名救急隊)の活動支援を実施しました。

(6) 県内広域応援活動(平成23年4月11日 土砂崩れへの出動)

平成23年4月11日、いわき市田人町石住中学校付近に発生した土砂崩れ現場へ応援出動しました。(土砂崩れにより死者3名、負傷者3名)

- ・出動隊：指揮隊1隊3名、救助隊1隊5名